

## 釧路の観光、もてなし提言

あすなろク 官民一体、連携必要

釧路観光のあり方を考えた釧路  
あすなろクラブの9月例会

中小企業経営者の異業種交流を推進している「釧路あすなろクラブ」(菊池吉郎会長)の9月例会が19日夜、釧路キャッスルホテルで開かれ、釧路観光をテーマに観光振興策や観光客へのもてなしを提言した。

この日は約30人が出席

し、第二部会の会員たちが「これでいいのだろうか? 釧路の観光―観光客の立場から見た釧路―」をテーマに発表。8月下旬に実施した大型客船の観光客へのインタビューの様子を紹介しながら、「飲食店の満足度が高い」「海産物を満喫して

いる」と観光客の生の声を報告した。

「観光施設までの距離や時間の記載のあるパンフレットはほとんどない」と問題点を指摘し、距離と時間を記載したパンフレットの作製や市が中心となった本格的な観光歓迎団体の設置などを提言。さらに「一人ひとりにまちを思う気持ちはあるが、それを生かす仕組みが機能していない。官民一体となった市民力が必要」と関係団体の連携強化の必要性を強調した。

(戸田英吉)

# 新 釧 路 新 聞

SENSHIN

9月21日土曜日

発行所 釧路新聞社

©釧路新聞社2013